



活動に寄せてくださった感想です。

## 🌀子どもたちから

「あっ」とおどろくトラップマジックに興味を持ち「もう一度見たい」という思いがわいてきた。その時に体調が悪かったがモジヤさんが来てから元気になったからまた来てください。待っています。

二胡演奏は初めて聞いたり触ったりして楽しかったです。  
触った感想は、思ったより軽くて弦が落ちないように工夫されていると思いました。  
力を入れなくてもいい音が出せて嬉しかったです。きらきら星が上手に弾けるようになったら楽しいと思いました。素敵な経験をさせていただいてありがとうございました。

またきてね。ずっとだいすき。あすれないでね。あたしもあすれない。

私がリクエストしたキリンが作れてよかったな、と思いました。長い風船を口に入れるパフォーマンスがすごい！と思いました。楽しかったです。

こんなにたくさん笑ったのは久しぶりだったので良かったです。普段病室では音楽を聞かないのでとても新鮮な感じがしました。

いつもすごいものをみせてくれ、  
たのしみにしています。

まいにち来て  
ほしいです。



ずっと退屈していたところに、とつぜんドアから入ってきてくださって、最初はなにかなー？  
と思っていたけど、お話をうかがっていたらすごく楽しそうで、ちょうど工作とかしたかったから  
すごく嬉しかった。

## ◎ご家族から

2週間ほど、抗がん剤の副作用に苦しみ、歩けず話せず起き上がるのも容易ではない状態の時、モジヤさんが来てくれて数々のマジックを見せてくださいました。大好きなマジックを目の前で見られたことに感動で、その一瞬は痛み、苦痛から逃れることができました。息子に入院してのち、初めて笑顔をくれました。今でもあのひと時の感動が忘れられません。「また来るね」と声をかけてくださいました。息子と待っています。長く苦しい闘病生活に感動と癒しをありがとうございました。

今年の頭に息子が入院して、気持ちが落ち着かない中、保育士さんから塗り絵ワークショップに誘っていただきました。鮮やかで細かな色使いの絵葉書に、心が温かくなりました。入院して3ヶ月が経ち、息子がイラストの塗り絵をしています。異年齢の子どもたちが集まり、歓声を時々あげながら、皆懸命に塗っています。黙々と集中して塗っている息子を見て、他の子供達を見て、気持ちがさらに温かくなり、希望で胸が熱くなります。このような機会を与えてくださりありがとうございます。息子が塗った絵は、いつも心配して祈ってくれている祖父母に送ります。今後も楽しみにしています。

いつも楽しく素敵な活動を企画して下さり、ありがとうございます。毎回違った内容で、次はどんな人たちが来るのかな？と子どもたちだけでなく、家族も楽しみにしています。内容が様々なのでその度に子どもたちの目の輝きも違い、その姿を見ていてとても嬉しくなります。病棟で生活している子どもたち、そして家族にとっても大きな刺激になっているのだな、と感じています。

入院して1週間、とても久しぶりに息子の笑顔を見ることができました。作っていただいた作品（トフボ）を自分からつかもうと手をのばし、ぶんぶん振り回し、楽しそうにしていました。入院中、我慢や頑張ることが多い中、楽しい時間をいただきありがとうございます。これからも子どもたちの笑顔が見られるよう、続けてもらえたらと思います。

明日外科手術予定の9ヶ月の娘にバルーンを作っていただきました。また痛いことがあるのでは？と怯える娘に優しく楽しく接していただき、娘から笑顔がこぼれました。救われたのは母である私も同じです。

入院も長くなり病室から出たくてたまらないストレスで表情に陰りが見えて心配していた中、楽しい音楽が聞こえてきました。本当は病室の外へは出てはいけなかったのですが、そんな様子を見た医療スタッフの方がプレイルームへの参加を促してくれました。母にとっても新鮮で心を助けられ、励まされました。

ベッドサイドで歌っていただき、特別な感じがしてとても嬉しかったです。入院していなければこんな特別なことは体験できなかったと思います。似顔絵も初めて描いていただけ嬉しかった。

次はいつどんな活動なのかいつも楽しみにしています。入院中だと、外に出て気分転換をすることもできず、病室でできることも限られてしまうので、とても良い刺激になっています。今後も楽しみに待っています。

点字の読み聞かせは絵がない分、頭の中で空想しながら話を聞けるのでとても貴重な体験を親子でできました。娘の兄も、特別支援学校で聴覚障がいの方と職場実習でお世話になり、お互いに大変な部分を補い合いコミュニケーションをとることを工夫していたので、このような触れ合いがたくさん広がることを願っております。体に気をつけて活動を続けてください。

見たことのない珍しい色えんぴつがたくさんあり、飽きることなく塗り絵に没頭していました。いつもは見本そっくりに色を塗るのが好きなのですが、今日はさまざまな色を使いオリジナルで考えて塗っており、終了後は同じ色えんぴつを買ってほしいというほど楽しんだようです。母親の私もついハマってしまい、親子で楽しみました。

マスクの下で「すげー！じょうず！」と何度も言っていました。パループで夜寝るまで遊んでいました。久しぶりに楽しいトークも聞けて嬉しかったです。毎回色々なタイプの活動なのでとても楽しみです。

病室でDVDばかり見ていたのでとてもいい刺激になりました。



今回は体調不良で描いているところを見られませんが、次回は先生が描いているところを是非見たいな、と思っています。これからも変わらない活動をよろしくお願いします。

入院中の点滴やいろいろな管に繋がれて病棟のプレイルームにも行けず、ベッドの上での遊びに飽き、ストレスで歯ぎしりがひどくなっていました。ちょうど月曜日の朝、管が2本とれ点滴だけになった時、絵本を読んでくださる方が来ていると伺い、母娘共にワクワクしてプレイルームへ。迫真の演技に娘の久々の笑顔が見られた喜びと、母である私自身も楽しく声をあげて笑いました。これまで知らず知らずのうちにためていたストレスが一気に吹き飛んだようでした。素晴らしい活動、これからも続けていっていただきたいと思います。頑張ってください！！

二人の歌のハーモニーが良かったです。入院中にこのような活動があることはとてもありがたいと感じます。ぜひこれからも活動を続けていただけると願っております。ありがとうございました。

このような活動をなさっている団体があることを知りませんでした。どこでも喜ばれていることと思います。子どもは絵本が大好きです。病室に楽しい風が入るのはみんなにとって気が楽になるのではと思います。

EICU からお昼過ぎに移ってきたのですが、ずっと「つまらないつまらない」と言っていたところにきてくださって、娘の顔が笑顔になって親としてもとても感謝しております。とても明るく楽しく娘に話しかけてくださってありがとうございました。キラキラ可愛い作品に娘も大変満足しております。



とても楽しい朗読会に参加させていただき、ありがとうございました。娘があんなに真剣に聞き入っている様子は初めて見ました。私も素晴らしい朗読にとても感動しました。娘に本を読む時の読み方には工夫をしていましたが、お手本にさせていただきます。点字の体験も楽しかったようで、病室に戻った後も、娘が自分で打った点字の紙を大切にニコニコとずーっと持っていました。また参加したいです。

## ⑥ 医師から

子どもたちが笑顔になることが我々病院スタッフにとって、一番の喜びです。子どもたちの未来のために、ともに頑張りましょう！

いつもありがとうございます。

私の担当の患者様は、外科疾患が多く、児が手術前後に緊張している様子をよく見かけます。しかし、スマイリングホスピタルのパフォーマンスを見て、児に笑顔が出る様子が多く、とてもありがたく思っています。長期入院で本人も家族も疲れている等の様子があるときに、みなさまに笑顔が出ることもあります。感謝しております。今後もよろしく願いいたします。

治療的効果もあるのではないかと・・・。

子どもたちが笑っていて嬉しい。



## ⑥ 保育士から

いつも素敵な活動をありがとうございます。入院生活の中では楽しいことばかりではなく、短い入院生活の子供でも普段とは異なる環境にストレスを感じていることもあります。

そのような中で、楽しい音楽やマジック、お話のイベントに参加することで、子どもたちはもちろんのこと、家族も一緒になって楽しんでいる姿を見ると自分たちも嬉しくなります。

病棟という特殊な環境の中で、スマイリングホスピタルジャパンのスタッフの方々やアーティストの方々にご迷惑をおかけすることもあります。今後ともよろしく願います。

毎月さまざまな内容のプログラムが開催され、短期入院はもちろん、長期入院児も飽きることなく楽しんでいます。また、付き添いの方もプロの音楽を涙して聴いたり気分転換の時間になっています。

その日の体調でプレイルームに参加できなくても、SHJの方が訪室してくれるので、どの子どもたちも平等に楽しめるのでありがたいです。

どの活動も素晴らしいですが、音楽はどの年齢も性別も問わず楽しめるので、参加率がとても高いです。いつもどうもありがとうございます。

回数をもっと多く・・・なんて贅沢ですね。いつも大変ありがたく思っております。

赤ちゃんが全身で音を感じているかのように穏やかに過ごしていたのが印象的でした。「昔楽器をしていました」というお母さんは夢中で取り組んでおられ、終わってからは「久々に触って楽しかった！」と満足げな表情をされていました。素敵なお時間を SHJ さんのおかげで提供できて私たち保育士もありがたかったです。今後もよろしくお願いします。

病室にこもりきりでイベントがあっても病室から出なかった子どもが参加した時はびっくりした。

毎週定期的に来ていただき、ありがたいと思っています。

丁寧に子どもたち、スタッフに対応してくださっているのを感じ、嬉しいです。

楽しく参加させていただいています。1人ひとり大切にこの思いが伝わります。

入院している子どもの心のケアとして、親のいない時間に気分転換できて良いと感じます。特に赤ちゃんの多い病棟ですが、病院の都合で小学生など入ってしまうことがあり、発達年齢に合わせた関わりができていないので、このような専門的な遊びを通して学んでいく時間が必要であると考えます。機会を増やしてほしいです。

## ◎重症心身障害児施設介護士から

初めてスマイリングホスピタルジャパンの大道芸を見せていただけることになった時、子どもたちに伝わるだろうかという不安とどんな反応をしてくれるだろうかワクワクした気持ちで当日を迎えました。子どもたちの大好きな音楽やバルーンアートを見せてもらい、職員が考えるよりも活動に集中して参加する子どもが多く、新たな子どもたちの一面を見ることができました。一人一人に丁寧に関わってくれるパフォーマーさんやスタッフさんの対応を嬉しく感じ、また次回も子どもたちにパフォーマンスを見せて欲しいと思いました。

重症心身障がい児は、一般的に意思表示の読み取りに時間を要すると言われます。しかし音楽の力はそれを飛び越え、今回もまた子どもたちに心踊る体験をもたらしてくれたと思います。笑顔を溢れる表情や普段とは異なる身体の動きがそれを証明しており、子どもも大人も気持ちが通じる時間を持てたと感じる事ができました。プロのパフォーマンスを間近で体験できる機会は身近なことではなく、どの子にとっても貴重な体験になったと思います。これからも、子どもたちがワクワクする時間の提供に力をお貸しいただきたいと思っています。



## ◎病院から（敬称略）

—スマイルフグホスピタルジャパン様にお越しいただいて—

神戸にあるチャイルド・ケモ・ハウスで小児科医をしている楠木と言います。SHJ様には多大なるご協力をいただき、心より感謝いたします。

チャイルド・ケモ・ハウスは、小児がんをはじめとした難治性小児疾患を抱える子どもと家族のための施設です。小児がんは約7割が治癒する時代となりましたが、一方で、長期間の治療が必要となっています。

小児がんの治療は短くて数カ月、長ければ1年以上の入院生活が必要になります。そうすると病院は闘病の場であるとともに、生活の場となります。子どもが一番安心できる環境は何か。それを考えることから私たちの活動は始まりました。

そして、「日常を維持する事」が一番大切だとの結論にいたりました。朝起きたら家族と一緒にご飯を食べ、公園で遊び、学校で学ぶ。夜は家族で布団に入る。病気になったからといって、あきらめなくてもいいことはたくさんあります。

私たちは、「がんになっても笑顔で育つ」をキャッチフレーズに2005年からNPO活動を行い、2013年4月にチャイルド・ケモ・ハウスが完成しました。チャイルド・ケモ・ハウスは家族とともに過ごしながら医療を受けることができる施設です。19室の個室とプレイルーム、院内学級、共同浴室、レストランなどがあります。自宅と大病院との中間的な施設として活動をしています。

小児医療は病気だけを診る時代から、人を診る時代を経て、子どもの成長と家族の生活も診る時代になったと思います。

医療は医師・看護師のみで提供する時代から、教師・心理士・MSW・保育士・チャイルドライフスペシャリスト・アロマセラピスト・ボランティアなど、様々な職種が関わる時代になったと思います。

日常の中にある特別な日は、子ども達にたくさんの笑顔とエネルギーを与えてくれます。旅行や遠足、運動会や発表会など、子どもの成長をうながすイベントはたくさんあります。私たちは、「病気になって得をした」ことを少しでも増やしたいと思っています。しかし、それは私たちの力だけではできません。そんな時に縁あってスペシャリスト集団のSHJ様と知り合うことが出来ました。そして、チャイルド・ケモ・ハウスに何度もお越しいただき、病気を抱えた子ども達やきょうだいを含めたその家族のために、特別な時間を提供して下さっています。子どもが笑顔になり、それを見て親が笑顔になり、病気のことを忘れられる素晴らしい時間です。

数家族のためだけに素晴らしいプログラムが提供され、濃密で贅沢な時間は、まさに「病気になって得をした」です。

「病気の子ども」ではなく、「かわいい子ども」としていつも接して下さっているSHJのスタッフの方々には心より感謝いたしております。今後ともよろしくお願い致します。

公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金理事長/院長 楠木 重範

子供たちにとって、また、スタッフにとっても素敵な時間をプレゼント頂き、ありがとうございます。この様な時間を過ごすことは子供たちの心に夢や希望を与えて頂くと共に、療養の手助けにも必ずや繋がっているものと確信致します。同時に医師、看護師等の医療スタッフにとっても、多忙で緊張感の続く業務環境の中、心とらぐ時間を送ることができ、チーム医療の活性化に役立つものと思います。誠にありがとうございます。

慶應義塾大学病院医療事務室  
佐藤正明

静岡県立こども病院には平成 27 年 4 月から、内科系 2 病棟、外科系 2 病棟を毎月交互に訪問いただいています。こどもたちが楽しい時間を過ごせるよう、アーティストの皆さんは時には声を枯らしながら全力で活動してくださっています。

アーティストがみえると、いったい何が始まるのかとこどもたちは興味津々でプレイルームに集まって来ます。「音楽あそび」では好きな楽器を手に取り自由に鳴らし始めますが、初めはバラバラだった音がアーティストの声掛けで次第にまとまっていき、最後にみんなの音の一つに揃うと歓声が上がりました。反応がないと思っていた子がオルゴールの音に目をぱっと輝かせるのを見てご家族が感動されたり、笑顔を見せることが少なかった子が楽しそうに参加している様子を見て、病棟職員が「あんなに笑える子なんだ」と気づき、その後のケアの参考にしていくこともあります。継続的に訪問いただいているので、参加できなかった子は次回は参加したいと目標を持つことができます。

みんなのこどもらしい時間を引き出しいただきありがとうございます。

来月もお待ちしています！

静岡県立こども病院 地域医療連携室  
ボランティアコーディネーター 藪崎和美

私がボランティア係を引き継ぎ早 2 年が経とうとしていますが、「スマイリングホスピタルジャパン」さんはその半年前から小児病棟でプロの芸人さんによる癒しの慰問活動を実践されておりました。初めて紹介されたのは 2 週続けての外国の方で、1 人はマジックもう 1 人はバルーンアート。流暢な日本語をつかい子供たちに話しかけながらの笑いを誘う芸風で、付き添いの親御さんも和やかに参加して親子で風船のプレゼントによるごんでおられました。その後、登録したボランティアスタッフは代表の松本さんを含めて 20 人となり、大道芸や新聞紙を丸めて色つきカムテープで形を作り帽子や仮面を作って記念写真に納まったりと子供たちの癒しのテーマは尽きません。寝たきりの患者や幼児でもピアノの弾き語り音楽には敏感に反応し手足を動かしてリズムを取っているしぐさ、それを見守る付き添いの親御さんや担当の看護師さんも歓声を上げて楽しむ姿は芸人ボランティアさんの醍醐味と思われまます。今後も小児病棟と附属乳児院を楽しく癒してください。

日本赤十字社医療センター医療社会事業課  
ボランティア担当係長 千葉修一

神奈川県立こども医療センターは、小児病棟、肢体不自由児施設および重症心身障害児施設の 3 施設、419 床の施設で、小児の難治性疾患の治療を中心とする小児専門の高度・専門医療機関です。年間入院患者は実数で約 7000 人、年間外来患者数は約 10 万人で、そのいずれも難病をかかえる子ども達です。患者様本人、幼いご兄弟含めたご家族は常に大きな不安とストレスをかかえて当センターで治療を受けられている中で、スマイリングホスピタルジャパンは、子どものケアについての経験者でもあるプロの芸術家が、本物のアートを子ども達と伴に楽しむ参加型活動により、子ども達に活力と喜びを与え、病院生活を豊かなものにしていきます。このような活動は当センターにとっても、患者様やご家族にとっても、極めて貴重かつ重要な役割となっています。今後も患者様やご家族のため、より一層のご活躍を期待しています。

地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター前総長  
康井 制洋



毎月素晴らしいイベントを企画、実施していただき、ありがとうございます。  
子ども達が笑顔になることが、我々病院スタッフにとって一番の喜びです。  
子ども達の笑顔のためにこれからも楽しいイベントをたくさん企画していただくと幸いです。  
スマイリングホスピタルジャパンの皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。  
子どもたちの未来のために共に頑張りましょう！！

日本大学医学部附属板橋病院小児科  
病棟医長 平井 麻衣子

